

弘法大師，空海とは

空海は、804年に、遣唐使として、唐に渡り、密教について学びました。修行の地は高野山で、真言宗です。空海は、地方を歩き、布教だけでなく、民衆の役に立つことを進めました。

空海の死後、921年、醍醐天皇から弘法大師として認められました。「お大師さん」、「弘法大師」は空海のことをさすそうです。

小宅校区にある小宅寺の弘法大師像や上富永大師堂は、弘法大師と関係があります。



小宅寺の弘法大師像

四国八十八箇所とは

小宅寺の裏山を大師山と呼びます。そこには四国八十八箇所の言葉と石仏が88あります。興味を持ったので、「四国八十八箇所」について調べました。四国八十八箇所とは、四国にあり弘法大師が修行をした霊場をさすそうです。四国霊場という場合もあります。小宅寺と弘法大師との関係が分かりました。